

先生方

7 月 1 0 日（土）土曜活用

活動報告書

地域教育コーディネーター

西潟 李奈

後藤 素子

7月10日（土） 土曜活用活動報告

7月10日（土）の土曜活用として特別講座を開講いたしました。

今回の講座には以下の12名の方々に越しいただきました。

新潟医療福祉大社会福祉学科 寺田 貴美代 様・医療情報管理学科 高野 晃輔 様

日本歯科大学新潟短期大学 学長 小松崎 明 様

新潟食料農業大学ビジネスコース 岩坂 健志 様

新潟薬科大学 中川 沙織 様・小瀬 知洋 様・相井 城太郎 様

株式会社総合教育研究所 石橋 正利 様

有限会社プロス 土田 衛 様

新潟県立大学人間生活学部子ども学科 伊藤 巨志 様

新潟青陵大学臨床心理学科 齋藤 智 様・本間 優子 様

参加生徒は177名（1年生73名、2年生29名、3年生54名、4年生16名、5年生2名、6年生3名）でした。

先生方にはお忙しい中、活動へのご理解と、生徒へのお声掛け等ご協力いただきました。誠にありがとうございました。

次回は8月7日（土）に土曜活用にて特別講座を開講いたします。ご迷惑をお掛けいたしますが、今後ともよろしくお願いいたします。



各講座の代表生徒が講師の方々と会場にご案内しました。

〇年の〇〇です。本日はよろしくお願いいたします。

会場は〇年〇組の教室です。
ご案内いたします。



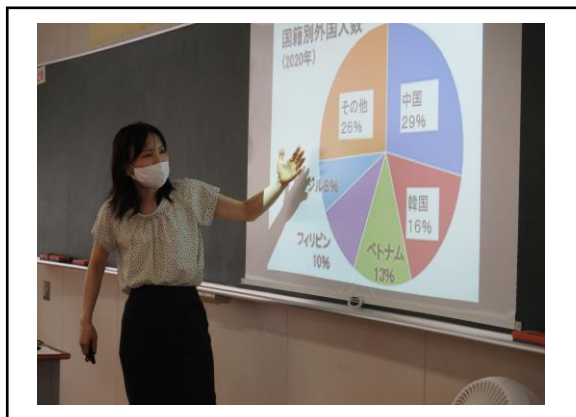
【講座名】 1 「多様な人々と共に生きる社会を考えよう」

【講師】新潟医療福祉大社会福祉学科 寺田貴美代 様

【会場】1年3組教室

【活動概要】海外への渡航が難しい状況です。地域社会には多くの外国人が暮らし、国際化が進んでいます。多様な人々と暮らしやすい社会を作るための多文化共生についてお聞きしました。外国人だけでなく周りの人へ話しかけるだけでも文化を学ぶことが出来ると思えるような講座でした。

【活動の様子】



【参加人数】 5 名

【生徒の感想】

- ・国籍やルーツで人を判断せず自分から飛び込む気持ちをもって人との関わりを楽しむ！それが多文化共生社会につながると思う。
- ・人は1人1人が違う価値観を持っていて、それが良い悪いではないことを知っておくのが今の社会には大事な事なのかなと思えるようになった。
- ・その国ごとの文化があるので日本にいるから日本人の感覚に従わなければならないというだけではなく、自らその文化を理解していくことが大切だと思った。
- ・国籍だけでなく、その人の考え方や好みなどをしっかり大切にしようと思った。
- ・相手が何かしてしまったときに責めるのではなく相手の理由を想像することが大切だと分かった。
- ・国と国が仲良くなるのは私達の少しの理解と行動だと思う。もっと国際問題や文化を学びたい。
- ・社会福祉学は外国人にも関連していることが分かった。これからの学びに生かしていこうと思った。

【講座名】 2 「医療情報とデータサイエンス」

【講師】新潟医療福祉大学医療情報管理学科 高野晃輔 様

【会場】1年2組教室

【活動概要】医療機関で扱われている「情報」について、ITスキルが医療のためにどのように応用されているかをお聞きしました。医療情報を管理する職種「診療情報管理士」「医療情報技師」の資格や仕事の内容を教えてくださいました。また、電子カルテについて病院ごとにシステムが変わると、患者の情報が早く共有されないということもお聞きしました。

【活動の様子】



【参加人数】 5名

【生徒の感想】

- ・便利だと思われる電子カルテの落とし穴やAIによる診断が今後どうなっていくか興味が出た。
- ・AIはガンのことだと、ガンの写真を何百枚も見て、ガンじゃない人の写真も何百枚も見て学習する。しかし、AIに任せていいのか。今でも論争になっていることが分かった。
- ・医療情報に興味を持った。話しやすく楽しく受講できた。質問もしやすく得たかった情報(病院間の情報共有について)も知れて良かった。
- ・人とコミュニケーションをとるために自分の好き嫌いなどをはっきり決めて、趣味などを共有することがとても良いことだと分かった。
- ・自分の将来に関することが、とても多く頭に残った。

【講座名】 3 「私の変な仕事です」

【講 師】日本歯科大学新潟短期大学 学長 小松崎 明 様

【会 場】1年1組教室

【活 動 概 要】大学の通常業務（専門は衛生学）以外にされてきたこと変わった仕事を3つ紹介していただきました。

（1）笹の葉っぱの秘密

社会系学問として、唾液腺マッサージのための新潟の笹団子を使ったクリームの研究をされています。

（2）芸術が治す（3）バスの車掌さん

芸術療法としてバスの車掌などの仕事からいろいろなことにつなげていくことで、別のことにつながっていくというようなお話をお聞きしました。

【活動の様子】



【参加人数】 7 名

【生徒の感想】

- ・個性を大事にして自分の良いと思う所を伸ばしていくのが大事だと気付くことが出来た。
- ・先生は、1つの物事にとらわれず、様々な着眼点をもって研究していることが分かった。
- ・知らないことばかりで興味がわいた。（特に芸術療法）自分もやってみたい。
- ・自分の興味があることでなくても、おもしろく学ぶことができれば結果に結びつくと思ったので、学習をおもしろく行うことを意識しようと思う。
- ・社会実験に関することは、新しいことを始める大変さを知ることができた。

【講座名】 4 「人を幸せにする仕事～社会起業家を学ぶ～」

【講師】新潟食料農業大学ビジネスコース 岩坂 健志 様

【会場】2年3組教室

【活動概要】現代における社会問題（社会問題・貧困問題）を概説していただきました。また、その社会問題をビジネス解決する事例の紹介もしていただきました。

【活動の様子】



【参加人数】 5 名

【生徒の感想】・

- ・日本は幸せだが、世界では苦しい思いをしている人がたくさんいることが分かった。どんな仕事になっても社会的問題に貢献したいと思った。
- ・パタゴニアやネスレ、フローランスなど、少しの生活の工夫でたくさんよいことがあることが分かった。水問題で安全な水がないことが分かった。
- ・環境と貧困の問題があり、これらが複雑に絡み合い負の連鎖のようになっていて、その解決のひとつが起業だとわかった。服や食べ物を買うときに犠牲になっている人がいないか気にしたい。
- ・起業家に興味があり、聞いて視野が広がったと思う。
- ・今回の話から、どんな仕事になっても社会的問題に貢献したいと思った。
- ・将来、人を幸せにする仕事に就きたいと思い参加した。勉強して社会問題の解決の力になりたい。
- ・具体的な数値で今の世界の問題を理解できた。

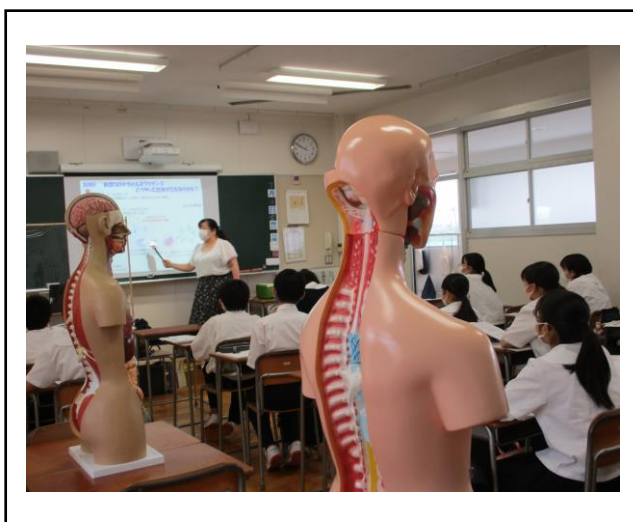
【講座名】5「新型コロナウイルスって何だろう？-ワクチンや治療薬について-」

【講師】新潟薬科大学 中川 沙織 様

【会場】2年2組教室

【活動概要】新型コロナウイルス感染症について、ワクチンの作用、注意点についてや治療法や予防法など疑問に思っていることについて人体模型を使いながら説明していただきました。

【活動の様子】



【参加人数】16名

【生徒の感想】・

- ・ コロナウイルスは細胞から栄養をもらい細胞の中に入るため、細胞を傷つけずにウイルスをなくせる薬をつくるのは難しく特效薬をつくることができないと分かった。
- ・ 人体模型を観察してみて人の体のつくりの細かい所まで見る事ができたので面白かった。
- ・ マスクはウイルスや細菌を通してしまいが菌がたくさんつく指や手で顔をさわらないためにつけるとよいことが分かった。
- ・ 将来薬剤師になりたい。肺が4枚あることが分かった。アルコール消毒するときは15～30秒もみこむ。石けんで手洗いは1分流す。
- ・ 消毒は死んだ菌が生き返ることがあるから石けんで手を洗って流すことが分かった。

【講座名】 6 「海を汚す本当の犯人は誰だ？

～レジ袋有料化とマイクロプラスチック汚染～

【会 場】 2 年 1 組教室

【講 師】 新潟薬科大学 小瀬 知洋 様

【活動概要】 レジ袋が有料化されマイバッグを使う人が多くなりました。地球温暖化、マイクロプラスチック問題とレジ袋が悪者にされています。改めて何がどう問題なのかをお聞きしました。レジ袋有料化を題材にして、海洋のマイクロプラスチック汚染の本当の原因や問題について学びました。

【活動の様子】



【参加人数】 1 3 名

【生徒の感想】

- ・プラスチックは環境に悪影響を与えていると思っていたが、エネルギー源やリサイクルによって、環境に優しい面もあると分かった。
- ・レジ袋有料化は、直接的な環境問題の解決につながらないことに驚いた。今までで一番面白い講座。
- ・プラスチックは、私たちの生活、身の回りの環境に悪影響を与えてしまうことばかり考えていたが使い方や処理の使用次第で影響を及ぼすことは少ないことが分かった。
- ・とても内容が濃くおもしろかった。
- ・様々な資料から見方が変化し、環境についてもっと知るべきだと思った。

【講座名】 7 「モチモチ新食感を生む植物の開発」

【講 師】新潟薬科大学 相井 城太郎 様

【会 場】3年3組教室

【活動概要】もち米には、煎餅やおかき、大福等のたくさんの加工品があります。もち米の特性(もち性)をもつと用途が多彩なため、いろいろな植物で品種が開発されるようになりました。どのような仕組みでもち性をもつのかの解説やどのような加工品の開発が期待できるのかを紹介していただきました。

【活動の様子】



【参加人数】 23名

【生徒の感想】

- ・ゲノム開発は、これからの世の中に必要なものだがデメリットも大きいことが分かった。
- ・トウモロコシはもち性なのに、あまりモチモチしないのが気になった。
- ・デンプンの構造やムギの区別など知らないことがたくさんあっておもしろかった。
- ・米は約70%がデンプンで、デンプンには2種類あることが分かった。その2種類の中のアミロペクチンが「モチモチ食感」につながっていることが分かった。
- ・そば粉は小麦粉と違って炭水化物が少なくビタミンがあるため健康によいことが分かった。
- ・コロナウィルスに感染した時のリスクがゲノムで分かるという話がとても意外でおもしろかった。

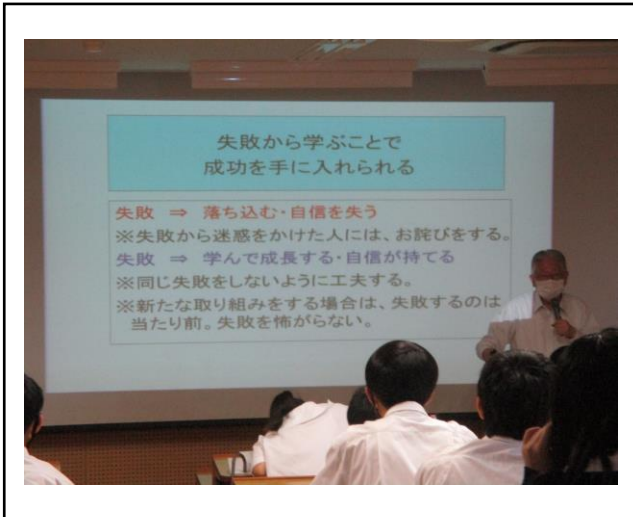
【講座名】 8 「途中まで成績が低かったのになぜ偏差値の高い大学に合格できたのか？」

【会場】 視聴覚室

【講師】 (株) 総合教育研究所 石橋 正利 様

【活動概要】 行く大学が無いと言われる程だったご子息が慶応大学法学部に合格し弁護士になられたお話をお聞きしました。講座では褒めることの大切さや失敗から成功を手に入れること、イメージトレーニングが大切だと学びました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 45名

【生徒の感想】

- ・合格するためのイメージトレーニングや褒め日記などの方法を使って合格したことが分かった。
- ・「愛技絆」が印象に残った。人を助けたいという思いやりの心があれば実現することに感心した。
- ・失敗で落ち込んだり自信を失ったりせず、失敗から学ぶことで成功するということから、失敗を怖がらないようにするということを感じた。

【講座名】 9 「恥ずかしがりやを克服したい!『誰とでも会話が続くようになる7つの方法』」

【会 場】 3年2組教室

【講 師】 有限会社プロス 土田 衛 様

【活動概要】 「内気や恥ずかしがりやのタイプの人でも、人とうまく会話が続けられるようになる方法」を簡単な実践を通して体でも理解することができました。実践では、話をする側ではなく聴く側にまわり「うなづきやあいづち」を使うことで相手が話しやすくなることが分かりました。

【活動の様子】



【参加人数】 26名

【生徒の感想】

- ・ どうすれば会話が続くのか悩んでいた。自分が変わろうとするのではなく、相手の「聞いてもらいたい」という気持ちを利用することができると分かった。
- ・ 「あいさつは返さない」と聞いて驚いた。「自分からする」ということに納得した。会話のコツや、話しかけ方をなど、私が知りたいことを知ることができた。
- ・ 今日から少しずつ意識して将来誰とでも上手に話そうとできるように頑張りたい。
- ・ 内気が武器だと知り、相手に話させるテクニックが分かり、とても参考になった。
- ・ 相手が話した言葉をリピートして相手が話しやすい状況を作ることや、あいさつは自分が仕掛けるものであることが分かった。

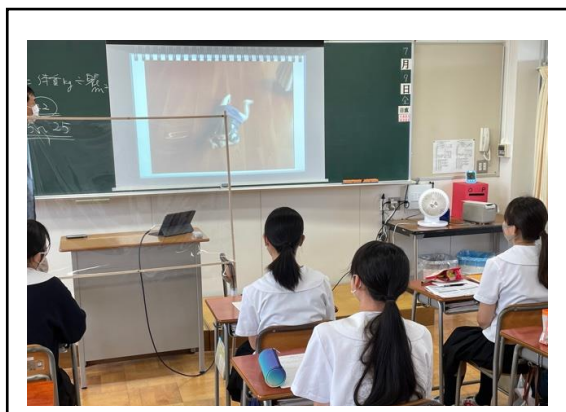
【講座名】 10 「身体の発育発達と運動遊び」

【講 師】新潟県立大学人間生活学部子ども学 伊藤 巨志 様

【会 場】3年1組教室

【活動概要】身体の発育発達と運動能力の発達経過から、幼児期における運動遊びの重要性と遊びのヒントを解説していただきました。子どもの発育は時期によって成長する能力が異なっていたり、環境や経験によって将来の運動能力が変化することを学びました。

【活動の様子】



【参加人数】 6 名

【生徒の感想】

- ・鬼ごっこなどの遊びにルールや条件を加えるなど教材研究というものをもっと知りたいと思った。
- ・体を実際に動かす活動があった。予測する能力や瞬発力が人それぞれ違っておもしろかった。
- ・第一志望校が新潟県立大学子ども学科。乳幼児期の子どもの育ちに関する基礎的な知識を学び、自分が将来どんな幼稚園教諭になりたいかを考えたり生かしたりしたいと思い参加した。
- ・ハイハイが体をきたえる大切な役割をしていることに驚いた。体験的に学ぶことができ、とても分かりやすく楽しかった。

【講座名】 11 「幸せを感じるキャリアデザインて何？」

—大学で学ぶ意義とキャリアデザインを考える—

【講師】新潟青陵大学臨床心理学科 齋藤 智 様

【会場】4年3組教室

【活動概要】「将来どんな職業につきたいのか」「大学に行く意味や理由が分からない」等、分からないことばかりで投げ出したくなる思春期の生徒に、見方や考え方を一つにしぼるのではなく、いろいろな方向から物事を考えることで自分の新しい可能性見つけ出すことができると感じられ、将来に希望を持てるお話をしていただきました。

【活動の様子】



【参加者名簿】 12名

【生徒の感想】

- ・先生が「焦らないでゆっくり探していけばいい。身近なことから探すことが大事。」とおっしゃったことで肩の荷がとれた気がした。
- ・自分自身の将来や進路について、現在と全く同じではないこと、創造性や思いやりを持って生きることの大切さを大事にしていくことが大切と分かった。
- ・キャリアデザインに関係して見えるか化することが大事だということが印象に残った。
- ・自分が社会に出て上手くやっていけるように知識以外にも基本的な人間性を磨いていきたいと思った。“今の子どもたちの65%は今ない職業に就く”というお話が頭に残った。

【講座名】 12 「エゴグラムで自分のこころの特徴を知ろう」

【講師】新潟青陵大学臨床心理学科 本間 優子 様

【会場】4年2組教室

【活動概要】カウンセリングで使う簡単な心理テスト（エゴグラム）を用いて自分の特徴を知るためのワークを行いました。それぞれの特徴を確認することで自分自身を理解することで次のステップにつながるようなお話をしていただきました。

【活動の様子】



【参加人数】14名

【生徒の感想】

- ・人と話すのが好きですが、その分人目を気にしてしまうので、もっとポジティブに生きようと思う。
- ・「あれこれ考えず、まずは行動して、自信をつける」という方法を見つけ改善していこうと思った。
- ・完全主義で協調性に欠けていることが分かった。高いところを下げようと思っていたが、低い所を上げると全体的にそろうという話を聞いて協調性を高めていこうと思った。
- ・になりたい自分になれるように身近なところから意識して行動するようにしたい。
- ・もともと心理に興味があった。大学の先生から話をうかがえて、さらに興味が深まった。
- ・今回得た知識は、友人や家族の中で生かしていきたい。
- ・自分の性格は自分が一番分かっていると思っていたが、他人から見て別の性格に見えているんだなと思った。